



I コマンド

この章では、I で始まる Cisco NX-OS Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) コマンドについて説明します。

ip authentication key-chain eigrp

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) パケットの認証をイネーブルにして、インターフェイス上で使用可能なキー セットを指定するには、**ip authentication key-chain eigrp** コマンドを使用します。認証を禁止するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip authentication key-chain eigrp *instance-tag* *name-of-chain*

no ip authentication key-chain eigrp *instance-tag* *name-of-chain*

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
<i>name-of-chain</i>	有効なキー グループ

コマンドデフォルト

EIGRP パケットには認証は適用されません。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

インターフェイス コンフィギュレーション モードで **ip authentication mode eigrp** コマンドを使用して、認証モードを設定する必要があります。インターフェイスに対する認証設定を完了するには、**key-chain** コマンドを使用して、別途キー チェーンを設定する必要があります。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、キーチェーン ツリーに属しているキーの受け入れと送信をインターフェイスに設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip authentication key-chain eigrp 209 trees
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip authentication mode eigrp	インターフェイスに EIGRP の認証モードを設定します。
key-chain	認証方式で使用可能なキー セットを作成します。
show ip eigrp interfaces	EIGRP インターフェイスに関する情報を表示します。

ip authentication mode eigrp

EIGRP パケット内で使用される認証タイプを指定するには、**ip authentication mode eigrp** コマンドを使用します。認証を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip authentication mode eigrp instance-tag md5

no ip authentication mode eigrp instance-tag md5

構文の説明	<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
	md5	Message Digest 5 (MD5) 認証を指定します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例 次に、MD5 認証を使用するようにインターフェイスを設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip authentication mode eigrp 209 md5
switch(config-if)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	authentication mode (EIGRP)	VRF の EIGRP の認証モードを設定します。
	copy running-config startup-config	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルにコピーします。
	ip authentication key-chain eigrp	EIGRP の認証をイネーブルにして、インターフェイスに使用可能なキー セットを指定します。
	key chain	認証方式で使用可能なキー セットを作成します。
	show ip eigrp interfaces	EIGRP インターフェイスに関する情報を表示します。

ip bandwidth eigrp

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) インターフェイスの帯域幅を設定するには、**ip bandwidth eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

```
ip bandwidth eigrp instance-tag bandwidth
```

```
no ip bandwidth eigrp
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
<i>bandwidth</i>	帯域幅値。範囲は 1 ~ 2,560,000,000 キロビットです。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、自律システム 209 で 10000 の帯域幅メトリックを使用するように EIGRP を設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip bandwidth eigrp 209 10000
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip bandwidth-percent eigrp	インターフェイスの帯域幅のうち、EIGRP に使用できる割合をパーセントで設定します。
show ip eigrp	EIGRP 情報を表示します。

ip bandwidth-percent eigrp

インターフェイス上で Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) に使用できる帯域幅のパーセンテージを設定するには、**ip bandwidth eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

ip bandwidth-percent eigrp *instance-tag percent*

no ip bandwidth-percent eigrp

構文の説明	instance-tag	EIGRP インスタンスの名前。instance-tag には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
	percent	EIGRP に使用できる帯域幅のパーセンテージ

コマンド デフォルト *percent : 50*

コマンド モード インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン EIGRP が使用する帯域幅は、リンクの帯域幅の最大 50 % です。このパーセンテージは、**ip bandwidth** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで定義されます。このデフォルトのパーセンテージを変更するには、**ip bandwidth-percent** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例 次に、自律システム 209 でインターフェイスの最大 75 % を使用するように EIGRP を設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip bandwidth-percent eigrp 209 75
switch(config-if)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip bandwidth eigrp	インターフェイスの EIGRP 帯域幅値を設定します。
	show ip eigrp	EIGRP 情報を表示します。

ip delay eigrp

インターフェイスでの Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) のスループット遅延を設定するには、**ip delay eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

```
ip delay eigrp instance-tag seconds
```

```
no ip delay eigrp instance-tag
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
<i>seconds</i>	スループット遅延 (10 マイクロ秒)。範囲は 1 ~ 16777215 です。

コマンドデフォルト

100 (10 マイクロ秒単位)

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

10 マイクロ秒単位でインターフェイスにスループット遅延を設定します。たとえば、**ip delay eigrp** コマンドを 100 に設定すると、スループット遅延は 1000 マイクロ秒になります。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、インターフェイスの遅延を 400 マイクロ秒に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip delay eigrp 1 40
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip hello-interval eigrp	自律システム番号で指定される EIGRP ルーティングプロセスに対するインターフェイスの hello インターバルを設定します。
show ip eigrp	EIGRP 情報を表示します。

ip distribute-list eigrp

インターフェイスでの Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) の配布リストを設定するには、**ip distribute-list eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

```
ip distribute-list eigrp instance-tag {prefix-list list-name | route-map map-name} {in | out}
```

```
no ip distribute-list eigrp instance-tag {prefix-list list-name | route-map map-name} {in | out}
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
prefix-list <i>list-name</i>	EIGRP ルートのフィルタリングに使用する IP プレフィックス リストの名前を指定します。
route-map <i>map-name</i>	EIGRP ルートのフィルタリングに使用するルート マップの名前を指定します。
in	着信ルートにルート ポリシーを適用します。
out	発信ルートにルート ポリシーを適用します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

インターフェイスに対するルート フィルタ ポリシーを設定するには、**ip distribute-list eigrp** コマンドを使用します。この設定を完了するためには、ルート マップまたはプレフィックス リストの名前を設定する必要があります。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

インターフェイスに着信するすべての EIGRP ルートのルート マップを設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip distribute-list eigrp 209 route-map InputFilter in
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
prefix-list	プレフィックス リストを設定します。
route-map	ルート マップを設定します。
show ip eigrp	EIGRP 情報を表示します。

ip eigrp shutdown

インターフェイスの Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) をシャットダウンするには、**ip eigrp shutdown** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

ip eigrp *instance-tag* shutdown

no ip eigrp *instance-tag* shutdown

構文の説明

instance-tag EIGRP インスタンスの名前。*instance-tag* には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ip eigrp shutdown コマンドは、保守のために、EIGRP 用のインターフェイスをシャットダウンして、インターフェイスに対する EIGRP 隣接関係を禁止します。このインターフェイスのネットワークアドレスが EIGRP トポロジ テーブルに表示されなくなります。

ip passive-interface eigrp コマンドは、EIGRP の隣接関係を禁止しますが、トポロジ テーブル内のネットワークアドレスを維持するために使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、インターフェイス上で EIGRP をディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 201
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip eigrp 201 shutdown
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip passive-interface eigrp	EIGRP のインスタンスを設定します。
router eigrp	EIGRP のインスタンスを設定します。

ip hello-interval eigrp

インターフェイスの EIGRP hello インターバルを設定するには、**ip hello-interval eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

ip hello-interval eigrp *instance-tag seconds*

no ip hello-interval eigrp *instance-tag*

構文の説明	instance-tag	EIGRP インスタンスの名前。instance-tag には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
	seconds	hello インターバル (秒単位)。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

コマンドデフォルト 5 秒

コマンドモード インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例 次に、インターフェイスの hello 間隔を 10 秒に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip hello-interval eigrp 1 10
switch(config-if)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	copy running-config startup-config	コンフィギュレーションの変更をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。
	show ip eigrp	EIGRP 情報を表示します。

ip hold-time eigrp

EIGRP インターフェイスのホールド時間を設定するには、**ip hold-time eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

ip hold-time eigrp *instance-tag seconds*

no ip hold-time eigrp *instance-tag*

構文の説明	説明
<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
<i>seconds</i>	ホールド時間 (秒単位)。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

コマンド デフォルト 15 秒

コマンド モード インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **ip hold-time eigrp** コマンドは、非常に輻輳した大規模ネットワーク上のデフォルト保持時間を増加するために使用します。

ホールド時間は、hello インターバルの 3 倍以上の値に設定することを推奨します。指定されたホールド時間内にルータが hello パケットを受信しなかった場合は、そのルータ経由のルートが使用できないと判断されます。

ホールドタイムを増やすと、ネットワーク全体のルート収束が遅くなります。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例 次に、インターフェイスの保持時間を 40 秒に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip hold-time eigrp 209 40
```

関連コマンド	コマンド	説明
	copy running-config startup-config	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
	ip hello-interval eigrp	自律システム番号で指定された EIGRP ルーティング プロセス用のインターフェイス上の hello インターバルを設定します。
	show ip eigrp	EIGRP 情報を表示します。

ip next-hop-self eigrp

ルートのアドバタイズ時にネクストホップアドレスとしてローカル IP アドレスを使用するように Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) プロセスに指示するには、**ip next-hop-self eigrp** コマンドを使用します。受信したネクストホップ値を使用するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip next-hop-self eigrp instance-tag
```

```
no ip next-hop-self eigrp instance-tag
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
---------------------	--

コマンドデフォルト

EIGRP は常に、IP ネクストホップ値を自身に設定します。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

デフォルトの設定では、EIGRP は、ルータがルートを学習したインターフェイスと同じインターフェイス上でルートをアドバタイズする場合も、アドバタイズするルートの IP ネクストホップ値としてそれ自身を設定します。このデフォルト設定を変更するには、**no ip next-hop-self eigrp** コマンドを使用して、これらのルートのアドバタイズ時に受信したネクストホップ値を使用するように EIGRP に指示する必要があります。

例

デフォルトの IP ネクストホップ値を変更し、受信したネクストホップ値を使用するように EIGRP に指示する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# no ip next-hop-self eigrp 209
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	コンフィギュレーションの変更をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。
show ip eigrp	EIGRP 情報を表示します。

ip offset-list eigrp

インターフェイスでの Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) のオフセットリストを設定するには、**ip offset-list eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

```
ip offset-list eigrp instance-tag {prefix-list list-name | route-map map-name} {in | out} offset
```

```
no ip offset-list eigrp instance-tag {prefix-list list-name | route-map map-name} {in | out} offset
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
prefix-list <i>list-name</i>	EIGRP ルートのフィルタリングに使用する IP プレフィックス リストの名前を指定します。
route-map <i>map-name</i>	EIGRP ルートのフィルタリングに使用するルート マップの名前を指定します。
in	着信ルートにルート ポリシーを適用します。
out	発信ルートにルート ポリシーを適用します。
<i>offset</i>	EIGRP メトリックに追加する値 範囲は 0 ~ 2147483647 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

Cisco NX-OS は、指定されたプレフィックス リストまたはルート マップと一致するすべてのルートに、設定されたオフセット値を追加します。この設定を完了するためには、ルート マップまたはプレフィックス リストの名前を設定する必要があります。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、ルート マップ OffsetFilter と一致するインターフェイスに着信する EIGRP ルートのメトリックに 20 を追加するようにオフセット リスト フィルタを設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip offset-list eigrp 209 route-map OffsetFilter in 20
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
prefix-list	プレフィックス リストを設定します。

コマンド	説明
route-map	ルート マップを設定します。
show ip eigrp	EIGRP 情報を表示します。

ip passive-interface eigrp

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) インターフェイスのすべてのルーティングアップデートを停止するには、**ip passive-interface eigrp** コマンドを使用します。ルーティングアップデートの送信を再度イネーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip passive-interface eigrp *instance-tag*

no ip passive-interface eigrp *instance-tag*

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。名前には、大文字と小文字が区別される最大 20 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
---------------------	--

コマンドデフォルト

インターフェイス上でルーティングアップデートが送信されます。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ip passive-interface eigrp コマンドは、インターフェイス上のすべてのルーティング更新を停止し、EIGRP 隣接関係の形成を抑制するために使用します。インターフェイスのネットワーク アドレスは、EIGRP トポロジ テーブル内に残ります。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、イーサネット 2/1 上の EIGRP ルーティングアップデートを停止する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 201
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip passive-interface eigrp 201
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
no switchport	インターフェイスを、レイヤ 3 ルーテッド インターフェイスとして設定します。
show ip eigrp interfaces	EIGRP インターフェイスに関する情報を表示します。

ip route

スタティック ルートを設定するには、**ip route** コマンドを使用します。スタティック ルートを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip route ip-prefix/mask {[interface] next-hop} [preference] [tag id]
```

```
no ip route ip-prefix/mask {[interface] next-hop} [preference] [tag id]
```

構文の説明

<i>ip-prefix/mask</i>	IP プレフィックスおよびプレフィックス マスク。形式は x.x.x.x/length です。length は 1 ~ 32 です。
<i>interface</i>	(任意) このルートに到達するためにすべてのパケットが送信されるインターフェイス。? を使用してサポートされているインターフェイスのリストを表示します。
<i>next-hop</i>	ネットワークに到達するために使用可能なネクスト ホップの IP アドレス。IP アドレス、インターフェイス タイプ、およびインターフェイス番号を指定できます。形式は x.x.x.x/length です。length は 1 ~ 32 です。
<i>preference</i>	(任意) このルートへのアドミニストレーティブ ディスタンスとして使用されるルート プリファレンス。指定できる範囲は 1 ~ 255 です。デフォルトは 1 です。
<i>tag id</i>	(任意) ルート マップ内の照合に使用可能なルート タグを割り当てます。範囲は 0 ~ 4294967295 です。デフォルトは 0 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

スタティック ルートのデフォルトのアドミニストレーティブ ディスタンスは 1 です。ダイナミック ルーティング プロトコルをスタティック ルートよりも優先させたい場合は、スタティック ルート プリファレンス 引数をダイナミック ルーティング プロトコルのアドミニストレーティブ ディスタンスよりも大きい値に設定する必要があります。たとえば、EIGRP を使用して抽出されたルートのデフォルト アドミニストレーティブ ディスタンスが 100 とします。スタティック ルートよりも EIGRP ダイナミック ルートを優先する場合は、100 を超えるアドミニストレーティブ ディスタンスを指定する必要があります。

例

次に、ネクストホップ アドレス 10.0.0.2 を介して到達可能な IP アドレス プレフィックス 192.168.1.1/32 を持つ宛先へのスタティック ルートを作成する例を示します。

```
switch(config)# ip route 192.168.1.1/32 10.0.0.2
```

次に、前述の例にタグを割り当てて、このスタティック ルート上で照合可能なルート マップを設定できるようにする例を示します。


```
switch(config)# ip route 192.168.1.1/32 10.0.0.2 tag 5
```

次に、110 のプリファレンスを選択する例を示します。この場合、アドミストレーティブ ディスタンスが 110 未満のダイナミック ルート情報を入手できなければ、プレフィックスが 10.0.0.0 のパケットが 172.31.3.4 にあるルータに転送されます。

```
switch# configure terminal
switch(config)# ip route 10.0.0.0/8 172.31.3.4 110
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 route	IPv6 スタティック ルートを設定します。
match tag	ルートに関連付けられたタグ値を照合します。
show vrf	VRF 設定情報を表示します。

ipv6 route

スタティック IPv6 ルートを設定するには、**ipv6 route** コマンドを使用します。スタティック ルートを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ipv6 route ipv6-prefix/length {{next-hop-addr | next-hop-prefix} | interface | link-local-addr}
[preference] [tag tag-id]
```

```
no ipv6 route ipv6-prefix/length
```

構文の説明

<i>ipv6-prefix/length</i>	IPv6 プレフィックスとプレフィックス長。形式は A:B::C:D/length です。長さの範囲は 1 ~ 128 です。
<i>next-hop-addr</i>	ネクストホップアドレス。フォーマットは、A:B::C:D です。
<i>next-hop-prefix</i>	ネクストホップのプレフィックスと長さ。形式は A:B::C:D/length です。長さの範囲は 1 ~ 128 です。
<i>interface</i>	このルートに到達するためのインターフェイス。? を使用してサポートされているインターフェイスのリストを表示します。
<i>link-local-addr</i>	IPv6 リンクローカルアドレス。フォーマットは、A:B::C:D です。
<i>preference</i>	(任意) このルートまでのアドミニストレーティブ ディスタンスとして使用されるルートプリファレンスを設定します。指定できる範囲は 1 ~ 255 です。デフォルトは 1 です。
<i>tag id</i>	(任意) ルート マップ内の照合に使用可能なルート タグを割り当てます。範囲は 0 ~ 4294967295 です。デフォルトは 0 です。

デフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、IPv6 スタティック ルートを作成する例を示します。

```
switch(config)# ipv6 route 2001:0DB8::/48 2b11::2f01:4c
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip route	IPv4 スタティック ルートを設定します。

ip router eigrp

インターフェイス用の EIGRP インスタンスを指定するには、**ip router eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip router eigrp *instance-tag*

no ip router eigrp *instance-tag*

構文の説明	<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
--------------	---------------------	--

コマンドデフォルト	なし
------------------	----

コマンドモード	インターフェイス コンフィギュレーション モード
----------------	--------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドを使用する前に、スイッチで EIGRP をイネーブルにするようにしてください。このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。
-------------------	---

例 次に、インターフェイス用の EIGRP インスタンスを設定する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip router eigrp Base
switch(config-if)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	copy running-config startup-config	コンフィギュレーションの変更をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。
	feature eigrp	スイッチで EIGRP をイネーブルにします。
	show ip eigrp interfaces	EIGRP インターフェイスに関する情報を表示します。

ip split-horizon eigrp

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) プロセスのスプリット ホライズンをイネーブルにするには、**ip split-horizon eigrp** コマンドを使用します。スプリット ホライズンをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip split-horizon eigrp *instance-tag*

no ip split-horizon eigrp *instance-tag*

構文の説明

instance-tag EIGRP インスタンスの名前。*instance-tag* には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

イネーブル

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

インターフェイスのスプリット ホライズンをディセーブルにするには、**no ip split-horizon eigrp** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、イーサネット リンクのスプリット ホライズンをディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# no ip split-horizon eigrp 209
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
show ip eigrp	EIGRP 情報を表示します。

ip summary-address eigrp

指定の Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) インターフェイスのサマリー集約アドレスを設定するには、**ip summary-address eigrp** コマンドを使用します。設定をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip summary-address eigrp instance-tag {ip-address/length | ip-address mask} [admin-distance | leak-map map-name]
```

```
no ip summary-address eigrp instance-tag {ip-address/length | ip-address mask}
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
<i>ip-address/length</i>	インターフェイスに適用するサマリー IP プレフィックスとプレフィックス長 (4 分割ドット付き 10 進表記)。たとえば、/8 は、IP プレフィックスの最初の 8 ビットがネットワーク ビットであることを示します。 <i>length</i> を使用する場合、スラッシュが必要です。
<i>ip-address</i>	インターフェイスに適用するサマリー IP アドレス (4 分割ドット付き 10 進表記)。
<i>mask</i>	IP アドレス マスク
<i>admin-distance</i>	(任意) アドミニストレーティブ ディスタンス。指定できる範囲は 1 ~ 255 です。
leak-map <i>map-name</i>	(任意) リーク マップを指定します。

コマンド デフォルト

EIGRP サマリー ルートには、アドミニストレーティブ ディスタンス 5 が適用されます。事前設定されるサマリー アドレスはありません。

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

インターフェイス レベルのアドレス集約を設定するには、**ip summary-address eigrp** コマンドを使用します。EIGRP サマリー ルートのアドミニストレーティブ ディスタンスは 5 です。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP インターフェイス上の 192.168.0.0/16 サマリー アドレスに 95 のアドミニストレーティブ ディスタンスを設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip summary-address eigrp 209 192.168.0.0/16 95
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
show ip eigrp interfaces	EIGRP インターフェイス関連の情報を表示します。

ipv6 authentication key-chain eigrp

EIGRP for IPv6 パケットの認証をイネーブルにして、インターフェイス上で使用可能なキー セットを指定するには、**ipv6 authentication key-chain eigrp** コマンドを使用します。認証を禁止するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ipv6 authentication key-chain eigrp *instance-tag* *name-of-chain*

no ipv6 authentication key-chain eigrp *instance-tag* *name-of-chain*

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>name-of-chain</i>	キー チェーンの名前。キー チェーン名は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

デフォルト

EIGRP パケットには認証は適用されません。

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

インターフェイス コンフィギュレーション モードで **ipv6 authentication mode eigrp** コマンドを使用して、認証モードを設定する必要があります。インターフェイスに対する認証設定を完了するには、**key-chain** コマンドを使用して、別途キー チェーンを設定する必要があります。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

キーチェーン ツリーに属しているキーの受け入れと送信をインターフェイスに設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# ipv6 authentication key-chain eigrp 209 trees
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 authentication mode eigrp	EIGRP for IPv6 インターフェイス用の認証モードを設定します。
key-chain	認証方式で使用可能なキー セットを作成します。

ipv6 authentication mode eigrp

EIGRP for IPv6 パケットに使用される認証タイプを指定するには、**ipv6 authentication mode eigrp** コマンドを使用します。認証を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ipv6 authentication mode eigrp instance-tag md5

no ipv6 authentication mode eigrp instance-tag md5

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
md5	Message Digest 5 (MD5) 認証を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

インターフェイスに使用される認証方式を MD5 に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# ipv6 authentication mode eigrp 209 md5
```

関連コマンド

コマンド	説明
authentication mode (EIGRP)	アドレスファミリー モードで EIGRP 用の認証モードを設定します。
iv6p authentication key-chain eigrp	EIGRP の認証をイネーブルにして、インターフェイスに使用可能なキーセットを指定します。
key chain	認証方式で使用可能なキーセットを作成します。

ipv6 bandwidth eigrp

EIGRP for IPv6 インターフェイスで帯域幅メトリックを設定するには、**ipv6 bandwidth eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

```
ipv6 bandwidth eigrp instance-tag bandwidth
```

```
no ipv6 bandwidth eigrp
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>bandwidth</i>	帯域幅値。範囲は 1 ~ 2,560,000,000 キロビットです。

デフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

自律システム 209 で帯域幅 10000 が使用されるように EIGRP を設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# ipv6 bandwidth eigrp 209 10000
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 bandwidth-percent eigrp	インターフェイスの帯域幅のうち、EIGRP に使用できる割合をパーセントで設定します。

ipv6 bandwidth-percent eigrp

EIGRP for IPv6 インターフェイスで使用可能な帯域幅のパーセンテージを設定するには、**ipv6 bandwidth-percent eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

```
ipv6 bandwidth-percent eigrp instance-tag percent
```

```
no ipv6 bandwidth-percent eigrp
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>percent</i>	EIGRP に使用できる帯域幅のパーセンテージ

デフォルト

percent : 50

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

EIGRP が使用する帯域幅は、リンクの帯域幅の最大 50 % です。このパーセンテージは、**ip bandwidth** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで定義されます。このデフォルトのパーセンテージを変更するには、**ip bandwidth-percent** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

自律システム 209 でインターフェイスの帯域幅の最大 75 % を使用するように EIGRP を設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# ipv6 bandwidth-percent eigrp 209 75
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 bandwidth eigrp	インターフェイスの EIGRP 帯域幅値を設定します。

ipv6 delay eigrp

EIGRP for IPv6 インターフェイスのスループット遅延を設定するには、**ipv6 delay eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

```
ipv6 delay eigrp instance-tag seconds
```

```
no ipv6 delay eigrp instance-tag
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>seconds</i>	スループット遅延 (10 マイクロ秒)。範囲は 1 ~ 16777215 です。

デフォルト

100 (10 マイクロ秒単位)

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

10 マイクロ秒単位でインターフェイスにスループット遅延を設定します。たとえば、**ipv6 delay eigrp** コマンドを 100 に設定すると、スループット遅延は 1000 マイクロ秒になります。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

インターフェイスの遅延を 400 マイクロ秒に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# ipv6 delay eigrp 1 40
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 hello-interval eigrp	自律システム番号で指定される EIGRP ルーティング プロセスに対するインターフェイスの hello インターバルを設定します。

ipv6 distribute-list eigrp

EIGRP for IPv6 インターフェイス用の配布リストを設定するには、**ipv6 distribute-list eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

ipv6 distribute-list eigrp *instance-tag* {**prefix-list** *list-name* | **route-map** *map-name*} {**in** | **out**}

no ipv6 distribute-list eigrp *instance-tag* {**prefix-list** *list-name* | **route-map** *map-name*} {**in** | **out**}

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
prefix-list <i>list-name</i>	EIGRP ルートをフィルタするための IPv6 プレフィックス リストの名前を指定します。
route-map <i>map-name</i>	EIGRP ルートのフィルタリングに使用するルート マップの名前を指定します。
in	着信ルートにルート ポリシーを適用します。
out	発信ルートにルート ポリシーを適用します。

デフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ipv6 distribute-list eigrp コマンドは、インターフェイス上のルート フィルタ ポリシーを設定するために使用します。この設定を完了するためには、ルート マップまたはプレフィックス リストの名前を設定する必要があります。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

インターフェイスに着信するすべての EIGRP ルートのルート マップを設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# ipv6 distribute-list eigrp 209 route-map InputFilter in
```

関連コマンド

コマンド	説明
prefix-list	プレフィックス リストを設定します。
route-map	ルート マップを設定します。

ipv6 eigrp shutdown

EIGRP for IPv6 インターフェイスをシャットダウンするには、**ipv6 eigrp shutdown** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

ipv6 eigrp *instance-tag* shutdown

no ipv6 eigrp *instance-tag* shutdown

構文の説明	<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
デフォルト	なし	
コマンドモード	インターフェイス コンフィギュレーション モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。	
例	インターフェイスの EIGRP を デイセーブルにする例を示します。 <pre>switch(config)# router eigrp 201 switch(config-router)# interface ethernet 2/1 switch(config-if)# ipv6 eigrp 201 shutdown</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	router eigrp	EIGRP のインスタンスを設定します。

ipv6 hello-interval eigrp

インターフェイスの EIGRP for IPv6 hello インターバルを設定するには、**ipv6 hello-interval eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

```
ipv6 hello-interval eigrp instance-tag seconds
```

```
no ipv6 hello-interval eigrp instance-tag
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>seconds</i>	hello インターバル (秒単位)。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

デフォルト

5 秒

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

インターフェイスの hello インターバルを 10 秒に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1  
switch(config-router)# interface ethernet 2/1  
switch(config-if)# ipv6 hello-interval eigrp 1 10
```

ipv6 hold-time eigrp

EIGRP for IPv6 インターフェイスのホールド時間を設定するには、**ipv6 hold-time eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

ipv6 hold-time eigrp *instance-tag seconds*

no ipv6 hold-time eigrp *instance-tag*

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>seconds</i>	ホールド時間 (秒単位)。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

デフォルト

15 秒

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ipv6 hold-time eigrp コマンドは、非常に輻輳した大規模ネットワーク上のデフォルト ホールド時間を増加するために使用します。

ホールド時間は、**hello** インターバルの 3 倍以上の値に設定することを推奨します。指定されたホールド時間内にルータが **hello** パケットを受信しなかった場合は、そのルータ経由のルートが使用できないと判断されます。

ホールド タイムを増やすと、ネットワーク全体のルート収束が遅くなります。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、インターフェイスのホールド時間を 40 秒に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# ipv6 hold-time eigrp 209 40
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 hello-interval eigrp	自律システム番号で指定された EIGRP ルーティング プロセス用のインターフェイス上の hello インターバルを設定します。

ipv6 next-hop-self eigrp

これらのルートのアドバタイズ時にネクストホップ アドレスとしてローカル IPv6 アドレスを使用するように EIGRP for IPv6 プロセスに指示するには、**next-hop-self eigrp** コマンドを使用します。受信したネクストホップ値を使用するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ipv6 next-hop-self eigrp instance-tag
```

```
no ipv6 next-hop-self eigrp instance-tag
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
---------------------	--

デフォルト

EIGRP は、常に、IPv6 ネクストホップ値を自己設定します。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

デフォルトで、EIGRP は、ルータがルートを取得したインターフェイスと同じインターフェイス上でルートをアドバタイズする場合でも、アドバタイズするルートの IPv6 ネクストホップ値を自己設定します。このデフォルトを変更するには、**no ipv6 next-hop-self eigrp** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、これらのルートのアドバタイズ時に受信したネクストホップ値を使用するように EIGRP に指示する必要があります。

例

デフォルトの IPv6 ネクストホップ値を変更し、受信したネクストホップ値を使用するように EIGRP に指示する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209  
switch(config-router)# interface ethernet 2/1  
switch(config-eigrp-af-if)# no ipv6 next-hop-self eigrp 209
```

ipv6 offset-list eigrp

EIGRP for IPv6 インターフェイスのオフセット リストを設定するには、**ipv6 offset-list eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

```
ipv6 offset-list eigrp instance-tag {prefix-list list-name | route-map map-name} {in | out} offset
```

```
no ipv6 offset-list eigrp instance-tag {prefix-list list-name | route-map map-name} {in | out} offset
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
prefix-list <i>list-name</i>	EIGRP ルートをフィルタするための IPv6 プレフィックス リストの名前を指定します。
route-map <i>map-name</i>	EIGRP ルートのフィルタリングに使用するルート マップの名前を指定します。
in	着信ルートにルート ポリシーを適用します。
out	発信ルートにルート ポリシーを適用します。
<i>offset</i>	EIGRP メトリックに追加する値

デフォルト

このコマンドには、デフォルトはありません。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ipv6 offset-list eigrp コマンドは、インターフェイス上でアダプタイズされるルートに影響を与えます。Cisco NX-OS は、指定されたプレフィックス リストまたはルート マップと一致するすべてのルートに、設定されたオフセット値を追加します。この設定を完了するためには、ルート マップまたはプレフィックス リストの名前を設定する必要があります。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次の例では、ルート マップ `OffsetFilter` と一致するインターフェイスに着信する EIGRP ルートのメトリックに `20` を追加するように、オフセット リスト フィルタを設定します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# ipv6 offset-list eigrp 209 route-map OffsetFilter in 20
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>prefix-list</code>	プレフィックス リストを設定します。
<code>route-map</code>	ルート マップを設定します。

ipv6 passive-interface eigrp

EIGRP for IPv6 インターフェイス上のすべてのルーティング アップデートを抑制するには、**ipv6 passive-interface eigrp** コマンドを使用します。ルーティング アップデートの送信を再度イネーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ipv6 passive-interface eigrp instance-tag
```

```
no ipv6 passive-interface eigrp instance-tag
```

構文の説明

instance-tag EIGRP インスタンスの名前。*instance-tag* は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

デフォルト

インターフェイス上でルーティング アップデートが送信されます。

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ipv6 passive-interface eigrp コマンドは、インターフェイス上のすべてのルーティング アップデートを停止し、EIGRP 隣接関係の形成を抑制するために使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、インターフェイス Ethernet 2/1 上の EIGRP ルーティング アップデートを停止する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 201
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# ipv6 passive-interface eigrp 201
```

ipv6 router eigrp

EIGRP for IPv6 インターフェイスを指定するには、**ipv6 router eigrp** コマンドを使用します。デフォルトに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ipv6 router eigrp instance-tag
```

```
no ipv6 router eigrp instance-tag
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
---------------------	--

デフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ipv6 router eigrp コマンドは、インターフェイス用の EIGRP インスタンスを指定するために使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、インターフェイス用の EIGRP インスタンスを設定する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 1/2  
switch(config-if)# ipv6 router eigrp Base
```

ipv6 split-horizon eigrp

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) for IPv6 プロセスのスプリット ホライズンをイネーブルにするには、**ipv6 split-horizon eigrp** コマンドを使用します。スプリット ホライズンをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ipv6 split-horizon eigrp *instance-tag*

no ipv6 split-horizon eigrp *instance-tag*

構文の説明

instance-tag EIGRP インスタンスの名前。*instance-tag* は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

デフォルト

イネーブル

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

no ipv6 split-horizon eigrp コマンドは、インターフェイス上のスプリット ホライズンをディセーブルにするために使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

イーサネット リンクのスプリット ホライズンをディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-eigrp-af-if)# no ipv6 split-horizon eigrp 209
```

ipv6 summary-address eigrp

指定された EIGRP for IPv6 インターフェイスのサマリー集約アドレスを設定するには、**ipv6 summary-address eigrp** コマンドを使用します。設定をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ipv6 summary-address eigrp instance-tag {ipv6-address/length} [admin-distance]
```

```
no ipv6 summary-address eigrp instance-tag {ipv6-address/length}
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>ipv6-address/length</i>	インターフェイスに A:B::C:D/length 形式で適用されるサマリー IPv6 プレフィックスとプレフィックス長。長さの範囲は 1 ~ 128 です。
<i>admin-distance</i>	(任意) アドミニストレーティブ ディスタンス。指定できる範囲は 1 ~ 255 です。

デフォルト

EIGRP サマリー ルートには、アドミニストレーティブ ディスタンス 5 が適用されます。事前設定されるサマリー アドレスはありません。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ipv6 summary-address eigrp コマンドは、インターフェイス レベルのサマリー アドレスを設定するために使用します。EIGRP サマリー ルートのアドミニストレーティブ ディスタンスは 5 です。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、2001:0DB8::/48 サマリー アドレス用の EIGRP インターフェイス上で 95 のアドミニストレーティブ ディスタンスを設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# ipv6 summary-address eigrp 209 2001:0DB8::/48 95
```

